

英語 2021年度東京都立高校一般入試 入試分析

～入試ではこう出る!!～

【出題内容】

全23問 1問4点 (2-3-(2)(作文)のみ12点)

コロナ禍の中で出題単元に制限はあったものの、難易度はあまり変わらなかった。

約10分間のリスニングの後、残りの問題を効率よく解かなければならない。図表を絡めた会話文・Eメール・条件英作文の複合問題、対話文問題、長文問題の大問3つの形式には慣れが必要。リスニングの5問目と条件英作文以外はすべて選択問題だが、選択肢はすべて英語表記である。

1 リスニング問題

全5問 1問4点 計20点

短い会話文の3問と、スピーチの2問という形式は昨年と同じ。1回目であらすじと問題、2回目で解答となる内容を聞き取り、必ず全問正解したい。特に5問目の記述問題は問題の疑問詞(What「何」)と内容(does Ms. Green want the students to do?「グリーン先生がその生徒にしてほしいのは?」)をしっかり聞き取って確実に解答したい。

2 図表を絡めた会話文・Eメールの読解と条件英作文

全4問 1問4点(英作文のみ12点) 計24点

形式・難度とも昨年と同じ。図表と会話文の問題では、最後まで読んで確実に判断する丁寧さが必要。条件英作文では初めに登場したEメールの中に、返事のEメールを作る自由英作文に応用できる部分があるので、うまく利用して満点解答を作成したい。あまり難しい語句や文法を用いず、簡潔かつ明確な3文を書ききりたい。

3 対話文読解

全7問 1問4点 計28点

形式・難度とも昨年と同じ。文章の長さは550語程度。前半の4問は省略された部分の説明、代名詞が指す内容、発言の理由や趣旨の説明を選ぶ問題で、例年通り。[問6]は本文内容を説明する文に適する形容詞を選ぶ問題。問7は本文内容に関する日記文を完成させる問題。4人の登場人物の言動を確実に捉えることが大切。

4 長文読解

全7問 1問4点 計28点

形式・難度とも昨年と同じ。文章の長さは700語程度で、昨年よりやや少なくなった。[問1]と[問3](1)～(3)は本文内容を説明する英文の空所選択補充。[問2]は本文の流れを説明する4つの英文の順整序。[問4](1)・(2)は本文内容に関する英問英答の計7問。全体のあらすじを把握する力、確認したい場面をすぐに見つけられる力が必要。

英語は得点を稼ぐことができる科目。苦手と感じる生徒こそ学習する時間を増やして練習を重ね、早めに克服して実力を身につけておくべきである。

実際の問題にチャレンジ!

2-3(2)(英作文)※一部抜粋

- 前後の文につながるよう書き、全体としてまとまりのある返事のEメールとすること。
- James に伝えたい内容を一つ取り上げ、それを取り上げた理由などを含めること。

You asked me, “Have you ever done something good for someone?” My answer is yes. I’ll write about it.
誰かのために何かよいことをしたことがありますか?

I’ll tell you some other stories in the future.